

## 学校自己評価システム取組状況調査報告書

平成27年度

県立学校評価委員会

学校名	埼玉県立和光特別支援学校	Aグループ
項目	調査の観点	取組状況に関する所見
目指す学校像	目指す学校像は、学校の現状、課題等を踏まえて設定されているか。	学校として目指す方向が簡潔に示されている学校像である。学校の現状や課題などを踏まえて概ね適切に設定されているが、創立40年の節目を機に、学校の特色や強みを生かした次のステージに向けた学校像を模索していただきたい。
重点目標	学校が抱える課題の解決に向け、児童生徒の実態など学校の状況を踏まえて、目標の重点化が図られているか。	学校の取り組むべき方向が三つの柱として設定されている。学校の置かれた状況の把握や学校内外の環境分析などを踏まえ、中期的視点から、更に検討・整理して目標の重点化を進めることが望まれる。
重点目標達成への取組	重点目標の達成に向けた組織体制が整備され、適切に機能しているか。	企画委員会と分掌・委員会等が連携し、学校自己評価システムが運営されている。評価項目が年度達成目標としては分かりにくいので、明確かつ重点化された目標となるように工夫していただきたい。
	方策は適切に策定され、効果的に実施されているか。	危機管理マニュアルや「校外宿泊行事フローチャート」などを作成して安全安心な学校づくりに取り組み、成果も上がってきている。評価指標が方策の達成状況を評価するものとしてはやや抽象的であるので、評価項目の達成に向けた具体的な方策を策定するとともに、その達成イメージを共有できるような分かりやすい指標を設定することが望まれる。
	校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深めながら組織的に取り組んでいるか。	企画委員会や職員会議において、校長が学校の課題等に関する教職員の共通理解を図っている。校長の的確なリーダーシップの下、教職員が共通理解を深め、課題の解決に向けて、学校全体として更に組織的に取り組むことが期待される。
	学校関係者評価等を踏まえて、達成状況や課題を検証し、取組の改善・更新が行われているか。	年度評価や学校関係者評価などを基に、取り組むべき課題や改善策が示されている。新たな課題や改善策を明らかにするために保護者アンケートの工夫を進め、その集計結果を分析して、前年度の達成状況の検証を適切に行った上で、方策の見直しを検討するなど改善のスパイラルアップを図っていただきたい。
特記事項		